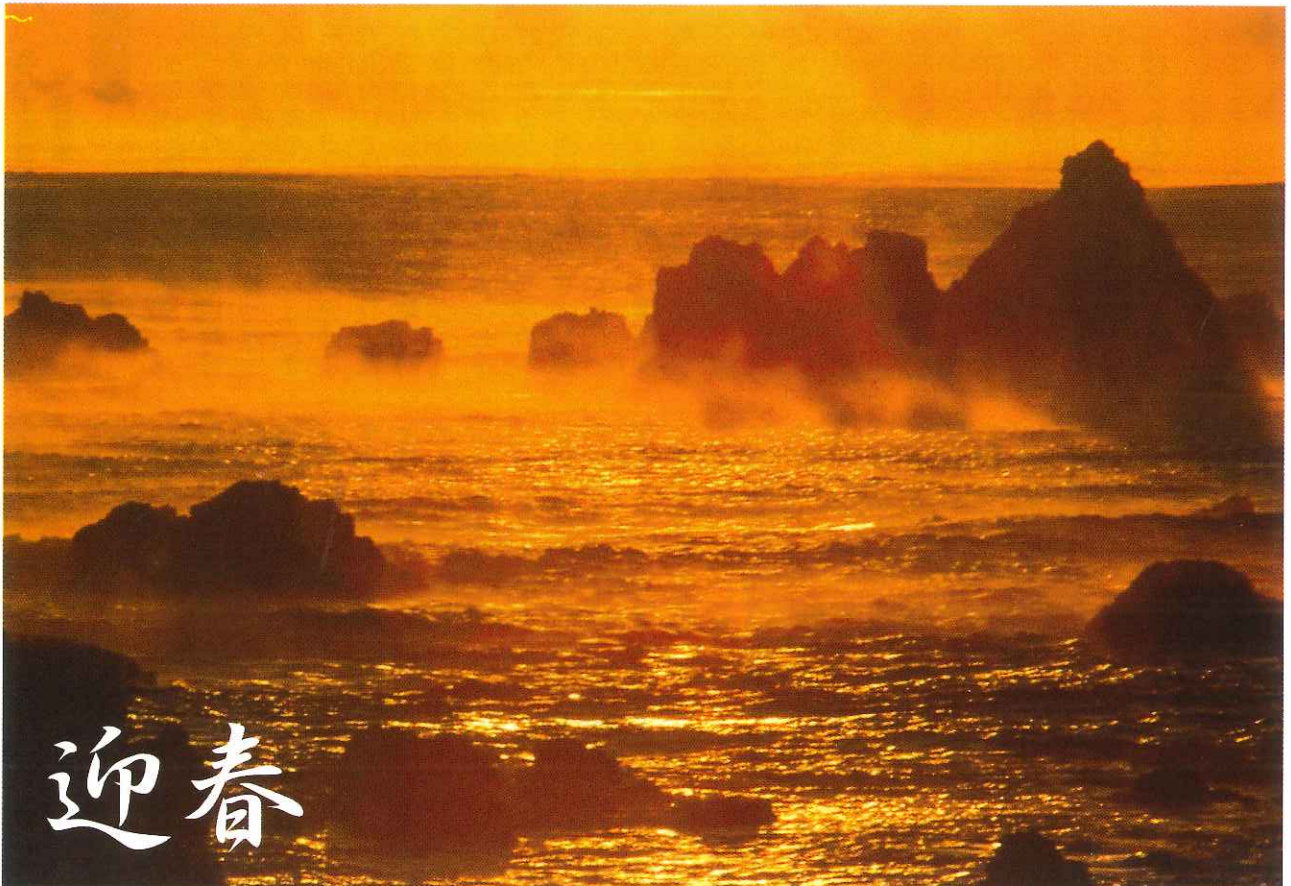


らぼり通信

【発行】
たじま医療生活協同組合
理事長 千葉 裕

【連絡先】
〒668-0851
兵庫県豊岡市今森465番地の1
事務局 ☎24-7035
ホームページ
<http://tajima-coop.com/index.html>

第135号 2018. 1. 15



迎春

光る海（日和山海岸） 撮影 湊崎 博

雨ニモマケズ

理事長 千葉 裕

「東に病氣の子どもあれば行って看病してやり、西に疲れた母あれば行ってその稲の束を負い、南に死にそうな人あれば行って怖がらなくてもいいと言ひ、北に喧嘩や訴訟があればつまらないからやめると言ひ」

みなさんご存知の宮沢賢治「雨ニモマケズ」の一節です。訴訟云々は別として、人としてそうありたいと思っています。

たじま医療生協は「あたたかなたすけあい」で、すこやかに人間らしく生きる」を合言葉に、二十四時間体制の医療・訪問看護そして介護・健康など事業を進めてきました。「生活に困りごとありませんか」とくらしの助け合いの会「なんなつと」も始まりました。

「住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりをすすめるよう」地域のくらしの困りごとを解決し、医療福祉生協の地域包括ケアをめざそう」と、安倍政権の社会保障制度改悪には反対しながら、今年度も事業・活動を行っています。

しかし、事業・活動が及んでいる地域は、まだ限られています。でも、住み慣れた地域をよくしていこうという気持ちがあれば、いつかその思いは実現していけると思います。

ソウイウ医療生協ニワタシタチハナリタイ。

年頭にあたり

たじま医療生活協同組合
専務理事 和田茂孔



新年明けましておめでとう
ございます。

私たちがたじま医療生協では、
昨年介護事業所の経営改善と
ろっぽう診療所の後継所長体
制を確立することが課題でし
た。その中で、昨年上半年時
点では経営改善のための努力
の結果、前年よりもさらに改
善をすすめることができまし
た。

いきたいと思います。

一昨年からスタートした暮
らしの助け合い「なんなつこ」
は、地域のくらし困りごとを
解決し、支えあい活動を通じ
て安心して住み続けられるま
ちづくりをめざして活動を続
けてきました。「なんなつこ」
があるから安心して在宅生活
ができるという声が聞かれ、
今では、地域になくはなら
ない存在となっています。

医療と介護報酬、介護保険
制度の改定の今年、ますます
公的制度を減らし自助・互助
を求めてきています。しかし、
このような時こそ、住み慣れ
たこの地域で安心して住み続
けられるまちづくりをすすめ、
地域の組合員とともに、医療
生協らしい地域包括ケアを進
めていく必要があります。

本年は大きな節目の年とな
りますが、また、新しい転換
の年として、新施設建設へと
つながる年としていききたいと
思います。
本年もよろしくお願いいた
します。

新年の抱負

介護事業所えがお
職員 一同

組合員のみなさま、あけま
しておめでとうございませ
す。本年もどうぞよろしく願
いいたします。

昨年も多くの方に「介護事
業所えがお」をご利用いた
き厚く御礼申し上げます。

平成29年度版高齢社会白書
によると、自宅で介護してほ
しいと答えた方は男性で4割、
女性で3割となっています。

また54%の方が、自宅で最
期を迎えたいと回答されまし
た（調査対象は全国の55歳以
上の男女）。そして、このよ
うな声にこたえるはずの介護保
険制度が少しずつ変化し、高
齢者を支えきれなくなってい
きます。今では制度を支える
ために「地域の支え合い」が
必要不可欠になってきていま
す。

たじま医療生協として、社
会保障の充実を国や市に求め
ていきます。そしてわたした
ちはご利用者様に、住み慣
れた地域で安心して住み続け
られるように、お手伝いさせ
ていただきます。

介護・医療の話ではありま

せんが、少し明るい未来の
話をしたいと思います。

高齢化が進み、後継ぎが
ないなどの理由で農業をや
める方が増えています。この
までは、日本の農業は衰退
していくように見えます。

ある会社が、農業を続け
ている人の困りごとを、一緒
になって考えました。そして、
都会の人はおいしい野菜を
安く食べられるようになり、
農家は収入が増えるようにな
ることを目指しています。

この話を聞いて、みんなが
嬉しくなっていてあるんだ
と感じました。

「えがお」の訪問範囲が
更に広がり、組合員のみな
さまの笑顔が但馬全体に
広がるように、職員一同
がんばっています。

がんばるワン

成年生まれの職員

今年、えがおに就職して
3年目です。以前より少
づつできることは増えて
きましたが、知識・技術
などまだまだ未熟であ
り、反省することた
くさんありました。

これからも学習と経験
を積み重ね、細やかな
気配りができ、利用者
様とご家族様が、毎日
安心して生活できる
ようにお手伝いでき
ればと考えています。

私自身は健康に気を
付けて、明るく楽しく
頑張ります。

成年ということで、皆
様に、ワンさか、幸
せが訪れることを願
っています。

看護師 岸田芙蓉



たじま医療生協に勤務
して10年が経ちました。
診療所の看護と、訪
問入浴での看護に携
わっています。色々な
人と接することで看
護師として成長して
いることを実感でき
、充実した日々を送
っています。

次の成年までに、もう
一回りは成長するよう
がんばります。

看護師 北田 梢

さらに広がった仲間の輪

生協強化月間を終えて

生協強化月間が11月末で終了しました。この期間中に50人の新しい仲間を迎えて、組合員総数は4,293人になりました(11月30日現在)。

仲間・出資金ふやしについては、強化月間に限ってみると前年と比べて伸び悩んでいます。ただし4月からの累計をみると、支部と介護事業所の仲間ふやしは前年度並みに進んでいます。支部では加入見込みのある人への声掛けが、介護事業所では新規利用者への声掛けの徹底が図られ

ているからだと思えます。出資金ふやしは、積立増資が増えたことで、介護事業所で前年度よりも金額が増加しています。

仲間ふやし・担い手ふやしについては、どの支部も大きな課題になっています。来年度に向けて支部で再度協議をお願いします。そこで出た意見や課題をみんなで共有し、支部内だけでなく、たじま医療生協が一体となって解決に取り組みしましょう。

兵庫民医連第43回 学術運動交流集会

と き：2018年3月4日(日)

と ころ：神戸国際会館

*朝7時にマイクロバスがろっぽう診療所を出発します(参加費無料)。

*たじま医療生協からは「くらし・健康アンケートから見た地域の困りごとと これからの医療生協活動」という演題で発表します。

*県内の医療生協からたくさんの取り組み発表があり、支部活動の参考になります。

申し込み・問い合わせは本部まで、たくさんの方の参加をお待ちしています。

なんなつと通信 ①

暮らしの助け合いの会「なんなつと」は、日常生活のちよつとした困りごとをお手伝いする活動をしています。

以前は地域包括支援センターや介護施設、事業所等のケアマネジャーからの相談が多くなってきたが、最近では利用者さんの口コミや紹介が増えてきました。

利用会員は146人で、依頼に対して支援会員54人が、それぞれの特技を活かしてお応えしています(12月末日現在)。

支援件数は次の通りです。

期 間	支援件数
2016年4月 ～2017年3月	475
2017年4月 ～12月16日	647
合 計	1,122

今年度は12月まで、昨年度1年間の件数を大きく上回る支援を行っています。しかし、この中に大きな課題があります。「なんなつと」は、

暮らしの助け合いを通じて地域作りをすることを目的に活動していますが、但馬全体には広がっていないということ

です。このことは論議を進めていかなければなりません。地域的には竹野町や出石町、但東町の方からの依頼が増えています。内容は、家事掃除、外作業、病院の付き添いや入院中の洗濯、家の片づけ、話し相手など、生活支援が多いです。

今年度はコミュニケーションセッション麻雀、コグニサイズ、音楽療法といったスキルアップ研修を、社協やコープこうべと連携して行いました。これらは支援にも取り入れています。地域との新しいつながりが生まれており、今後色々な団体と連携していきたいと考えています。

なんなつと支援者さん 募集!

詳しくは
TEL 0796-24-7015まで
担当 小牧



「音楽の力は 素晴らしい」

体験しよう!音楽療法♪

11月29日(水)コープデイズ豊岡で音楽療法体験会を行い、34人が参加しました。今回もコープこうべさんとの共催でした。

音楽療法は、音楽の持つ生理的・心理的・社会的な働きを使って、心身の障害の回復、機能の維持改善、行動の変容、生活の維持向上に向けて音楽を意図的・計画的に使用するケアの方法です。

音楽を聴くことでストレスや不安を軽くしたり、歌うことで肺機能を向上したりすることが出来ます。

講師の谷林恵子さん(兵庫県音楽療法士)の楽しい解説で、実際に音楽療法を体験しました。終始笑いが絶えることなく、心も体も元気になった2時間でした。



音楽に合わせて、体は自然に動きます。

虹のひろば



朝来支部

11月6日に秋のお楽しみ会を行い、今年は多々良木のダム湖にハイキングに出かけました。11人が参加し、爽やかな秋の日を過ごしました。



鶴城支部

11月16日、日頃の活動の慰労を兼ねて、13人で篠山に出かけました。お昼は鹿料理を味わい、秋を満喫しました。



北西支部

北西支部では、春の総会で秋の紅葉狩り計画をたて、11月18日に車に分乗して但東町安

ろっぽう投句箱

- 年を取り友達も減り心さびし
- 気が付けば見事に増えた忘れ癖
- うどんこね下手くそでもおいしいね

和田垣正子
西野一滴
僭越

国寺の「どうだんつつじ」見学に出かけました。当日はあいにくの冷たい雨で少人数の催しとなりましたが、ちよと色づいた景色に感動し、その後シルク温泉で昼食をとりながら歓談、親睦を深め、帰路につきました。

また12月9日には、「ろっぽう通信手配り」苦労さん会を開きました。支部は、たじま医療生協の中で二番目に組合員の多い支部です。その組合員への通信手配りを15名の方の協力で、100%実施しています。当日は昼食を囲みながら、配布までの準備や配布の苦労話をしました。一人で多くの部数を担当している人もあり「協力者を増やしたいね」など話し合いました。参加者から余興の披露があり楽しい集いとなりました。

組合員と医療生協の懸け橋としてこれからも手配りを頑張つていきたいです。西垣栄

新田・中筋支部

12月13日診療所裏の喫茶店で、今年も忘年会を行いました。歌を歌ったり、脳トレーニングをしたりと、楽しい時間を過ごしました。



「いつまでも元気に
お茶飲み来よーで」

日高支部

12月27日、日高町の高教組会館で、年末恒例のもちつき大会を行いました。16人が参加しました。



20白のもちをつき、おろしもち、あんこ入り栃もちなどにして、つきたてをいただきました。

今年もできたおもちをその日のうちに、支部の独居の組合員さんに届け、とても喜ばれました。

シリーズ

教えておしえて⑤ 「医療生協」のこと



手芸やハイキングなどの班やグループがあると聞きました。そんなことをされているのでしょうか？

以前の号で、医療生協の特徴の一つとして

*組合員が主催者として活動する場としての班を組織している

と、紹介しました。みんなが利用者・出資者・運営者である医療生協の特徴です。

こんなことをしています

たじま医療生協の支部や班・グループには、源氏物語講読や手芸、山歩きなどの趣味の集まり、グラウンド・ゴルフやラージボールなどの健康づくりの会があります。

この他にも支部による健康チェックや見守り活動、脳トシやおしゃべりが中心の集いの場もあり、皆さん元気に活動しています。

今年の夏休みには、小学生の宿題をお手伝いする会も新しく開かれました。

*班活動一覧

グラウンド・ゴルフ	神高美
ラージボール	やぶ
なかよし会(手芸)	神美
ハイキング	新田
源氏物語講読会	中筋
パソコン	亀城
脳いきいき班	やぶ
宿題がんばり会	北西
浜坂カニカニ班	日高
津居山班	美方
浜坂カニカニ班と津居山班はおしゃべりの班会	きたみ

3人寄れば班

たじま医療生協は、新しい班づくりを応援しています。組合員さんが、3人集まって「班」をつくれれば、班活動援助金で活動を支援します。

楽しい趣味の集まりでも、子育ての悩みを相談したり一緒に遊んだりする会もできます。医療生協の医療や福祉の専門職員を講師にして勉強会を開くのもいいですね。こんなことをしたい、こんな会を開きますと、事務局までぜひご連絡ください。

理事のつぶやき

足立 重明

理事になって1年7ヶ月。理事会に出席するため、昼食後に豊岡まで1時間近く車を運転すると、本当に眠い。会場に到着すると、おっす。

「住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりをすすめたい」という思いで、数か月をかけて準備した朝来市との交渉を、今年も12月12日に持った。市長以下10数人の担当課長などが出席、私たちも11人が参加した話し合いとなった。

要望事項のいくつかは、前進的な回答を得たが、高齢者の生活困難にかかわる事項で平行線となったものもあった。特に、高齢者の買い物や通院の足を確保するため、市が運行する「アコバス」の路線延長の願いに対する回答が「状況はわかるが、今すぐ実現しませう」とは言えない。だっただのは残念。その日に、さっそく該当する地域の方とともに、現地を見に出かけた。

今年度の交渉には、組合員以外の方が3人も参加され(医療生協の紹介パンフも話し合い後に渡すことができた)、切実な要望を市に訴えて頂いたことは大変うれしく、私の励みにもなった。また、高年福祉課の課長に「地域ケア」などの学習会企画への協力に同意を得たことなど、実りある取り組みになったと思う。

朝来の地で、医療生協運動をどう推し進めるのか、私には大きすぎる課題だと思つ日々だが、朝来の組合員に「あさづ通信」を月一回発行して、朝来の活動を報告したり、活動への参加を呼び掛けたりして、組合員を少しでも増やし、その運動を支えたいと思つている。

たじま医療生協の班活動は最低何人からできるでしょうか?

- ◎ 30人
- ◎ 10人
- ◎ 3人

はがき、FAX、またはメールで、クイズの答えと、医療生協に対するご意見やご感想を添えて「たじま医療生協クイズ係」までご応募ください。

正解者の中から抽選で3名様に、図書カードをプレゼントします。ご住所、お名前をお忘れなく。当選者は次号のろっぽう通信で発表します。そのさいペンネームでの記載をご希望の方は、併せてご記入ください。

締め切りは2月15日です。

ろっぽうクイズ

「ご意見・ご感想より」

●ろっぽう通信が入ると心がにぎやかになり、生きていく良かたと思ひます。

●健康まつりに行きました。お天気にも恵まれ、たくさんの方が来られ、もつと広い場所がよいなと感じました。ステージがあればもつと良かたかなと思ひました。

●134号に「弁当忘れても傘忘れるな」とか「うらに」という言葉が出てきました。私も知っています。なつかしい言葉です。

前回のクイズの正解者の中から抽選の結果、次の方に図書カードを進呈します。おめでとうございます。

- 真子さん (豊岡市)
- 楓さん (豊岡市)
- うばさくらさん (豊岡市)



宛先
 〒668-0851
 豊岡市今森465-1
たじま医療生協クイズ係
 FAX 0796-24-7010
 メールアドレス
 info@tajima-coop.com

ろっぽう診療所 診療体制(2017年4月以降)

	月	火	水	木	金	土
午前 9時~12時	○	○	○	○	○	○
午後	／	予防接種	(往診) (予防接種)	(往診)	(往診) (予防接種)	／
夜間 5時~7時	／	／	○	／	○	／

受付時間 午前8時~12時 夜間4時~7時
日曜・祝日休診

ろっぽう診療所

〒668-0851 豊岡市今森465-1 ☎24-7007
F 24-7010

介護事業所 えがお

〒668-0852 豊岡市江本396-1 101号・102号
 居宅介護支援事業所えがお ☎24-7013
 F 24-6154
 訪問看護ステーションえがお ☎24-6144
 F 24-6154
 ヘルパーステーションえがお ☎24-4731
 F 24-4733
 訪問入浴サービスえがお ☎34-9110
 F 24-4733

募集

診療所看護師 (パート)
 理学療法士 (常勤・非常勤)
 作業療法士 (常勤・非常勤)
 ヘルパー (登録)
 担当: 和田・瀬渡まで
 (TEL 24-7035)

◆材料4人分(20個分)◆

- ギョーザの皮(大) 20枚
- 豚ひき肉 200g
- 白菜キムチ(市販) 200g
- しょうゆ 大さじ1/2
- 酒 大さじ1/2
- ごま油 大さじ1/2
- こしょう 少々
- サラダ油 大さじ1

- パプリカ(黄・赤) 各1個
- サラダ油 大さじ1

1人分

360Kカロリー
 蛋白質 17.7g
 塩分 1.8g



「私のおすすり料理」③⑤ 管理栄養士 川戸宏子
 素材をかえて北京式の棒ギョーザ
キムチ棒ギョーザ

◆作り方

- ① キムチを1センチ程のざく切りにする。
- ② 豚ひき肉にAの調味料を加え、練ってから①のキムチを加えて混ぜ、20等分する。
- ③ ギョーザの皮のまわりに水をつけ、②を中心に横長にのせる。手前の皮をタネにかぶせて棒状に巻き、両端を押さえくつつける
- ④ フライパンに油大さじ1をなじませ、③の巻き終わりを下にして並べる。中火で焼き色がつくまで焼き、裏返して両面をこんがり焼く。
- ⑤ 湯1/2カップを注ぎ、蓋をして水分が蒸発するまで蒸し焼きにする。カリッとしたら器に盛りつける。
- ⑥ パプリカを8つ切りにしてサラダ油大さじ1で炒め軽く塩コショウをして添える。



竹野町の民家の外壁に「焼きすぎ板」が古くから使われてきた。強い季節風によく耐え、しかも壊れた時、その部分だけを簡単に取り替えることができるから、と聞いたことがある。

娘の連れ合いが、竹野に初めてきた時「町が黒い」と思ったそう。そう言われてみれば、昔ながらの町並みが多く残っている馬場町地区は確かに黒く感じる。表面の炭がはげていても灰色で、決して明るくはない。この町で育った者にとって、焼きすぎ板の外壁は慣れ親しんだもので何ら特別のものではない。

でもよくしたもので、そんなずいぶん昔から変わらない竹野町の町並みが、大変珍しく貴重だと最近話題になりつつある。

田村高志

*水彩画廊は今回で終了します。2年間ありがとうございました。



シリーズ 水彩画廊 ⑫ 最終回
竹野町浜地区の町並み「漁港から大通りへ」